

(9) 政策に対する態度

ア 若い世代と高齢者のどちらを重視するか (Q39)

「今後、政府の政策全般において、高齢者や若い世代に対する対応をどのようにしていくべきだと考えるか」についてみると、各国とも「高齢者をもっと重視すべき」(日本 40.3%、アメリカ 49.6%、ドイツ 47.5%、スウェーデン 57.6%) が最も高い割合となっている。

ドイツでは「現状のままでよい」の割合が 34.1%と、調査実施国中最も高くなっている。

「若い世代をもっと重視すべき」の割合は、日本が 37.5%と最も高く、次いで、スウェーデン (20.4%)、アメリカ (16.8%) となっており、ドイツが 14.1%で最も低くなっている。

前回と比較すると、日本とアメリカでは「若い世代をもっと重視すべき」の割合が、そしてスウェーデンでは「高齢者をもっと重視すべき」の割合がそれぞれ増加している。一方、ドイツでは「現状のままでよい」が増加傾向にある。(表 47)

(表 47) 若い世代と高齢者のどちらを重視するか

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
1 高齢者をもっと重視すべき	/	/	/	/	/	40.7	49.0	40.3	/	/	/	/	/	63.8	62.2	49.6
2 現状のままでよい	/	/	/	/	/	20.1	14.5	16.7	/	/	/	/	/	15.0	17.1	19.9
3 若い世代をもっと重視すべき	/	/	/	/	/	26.1	28.4	37.5	/	/	/	/	/	9.6	7.8	16.8
4 わからない	/	/	/	/	/	12.8	8.1	5.5	/	/	/	/	/	11.6	12.9	13.7
無回答	/	/	/	/	/	0.2	-	-	/	/	/	/	/	-	-	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 5 回	第 7 回	第 8 回
1 高齢者をもっと重視すべき	/	/	/	51.1	50.2	47.5	/	48.7	57.6
2 現状のままでよい	/	/	/	18.7	26.2	34.1	/	18.8	14.7
3 若い世代をもっと重視すべき	/	/	/	18.9	16.7	14.1	/	23.8	20.4
4 わからない	/	/	/	11.0	6.9	4.3	/	8.7	7.3
無回答	/	/	/	0.3	-	-	/	-	-

イ 高齢者に対する重要な政策や支援（Q40）

「高齢者に対する政策や支援で大切だと思うもの」についてみると、各国とも「公的な年金制度」（日本 56.0%、アメリカ 79.9%、ドイツ 65.0%、スウェーデン 71.5%）の割合が最も高くなっている。

また、2位以下をみると、日本では「介護や福祉サービス」（54.7%）と「医療サービス」（51.9%）が半数を超えているが、欧米3か国では「医療サービス」（アメリカ 79.1%、ドイツ 42.0%、スウェーデン 70.0%）と「介護や福祉サービス」（アメリカ 66.5%、ドイツ 51.2%、スウェーデン 70.5%）の割合が高い。（表 48）

（表 48）高齢者に対する重要な政策や支援

○付数字は順位（複数回答）（%）

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 働く場の確保					30.6	24.5	24.3	22.6					33.3	60.9	66.4	59.1
2 公的な年金制度					67.8	52.4	③57.6	①56.0					76.2	78.3	①80.2	①79.9
3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）の支援					23.1	11.3	13.3	12.8					24.5	57.0	③68.6	60.9
4 医療サービス					57.3	52.7	②59.5	③51.9					62.8	80.3	②76.0	②79.1
5 介護や福祉サービス					54.1	48.8	①60.9	②54.7					32.7	67.3	68.0	③66.5
6 ボランティア活動のための場の確保					15.7	10.8	10.5	8.9					9.2	41.7	54.7	50.8
7 学習のための場の確保						7.5	8.5	8.4						36.0	48.6	47.8
8 高齢者向けの住宅					23.5	12.8	21.2	18.8					19.2	56.9	61.6	65.2
9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）					33.2	18.6	25.5	25.2					12.0	45.1	57.9	53.4
10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）					23.1	21.4	16.9	17.9					14.0	37.0	54.4	51.3
11 高齢者の人権について、一般市民の理解の促進					18.4	10.8	15.0	13.7					10.5	42.4	58.1	54.5
12 その他					2.2	2.4	1.7	5.1					1.8	1.0	3.1	4.3
無回答					2.5	2.1	1.2	0.4					1.9	0.4	6.0	0.9

  

	ド イ ツ					スウェーデン			
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 働く場の確保			24.5	27.3	29.0	23.3	11.8	42.1	46.6
2 公的な年金制度			87.0	72.9	①65.4	①65.0	85.6	①76.8	①71.5
3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）の支援			25.1	41.3	38.8	32.0	24.5	37.0	36.7
4 医療サービス			52.6	44.6	③45.6	③42.0	63.7	③69.7	③70.0
5 介護や福祉サービス			55.9	44.2	②49.1	②51.2	59.9	②72.6	②70.5
6 ボランティア活動のための場の確保			21.1	19.2	22.5	20.6	33.3	45.4	43.0
7 学習のための場の確保				10.6	14.0	14.5		26.8	25.5
8 高齢者向けの住宅			38.7	26.4	29.9	34.5	37.5	66.8	62.7
9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）			31.2	30.2	36.5	32.3	43.9	39.4	44.4
10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）			41.5	31.4	32.6	31.3	44.5	49.0	55.0
11 高齢者の人権について、一般市民の理解の促進			35.5	31.9	33.2	28.8	31.4	41.4	41.0
12 その他			1.3	3.2	0.8	1.9	1.1	3.0	5.0
無回答			0.1	2.3	12.4	10.6	-	-	-

注) 第5回までは以下の文言で聞いた。

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 働く場所を確保する                      | 6 ボランティア活動や学習のための場を確保する          |
| 2 公的な年金制度を充実させる                  | 7 (第6回からの設問)                     |
| 3 老後のための個人的な財産形成（財形、個人年金等）を充実させる | 8 高齢者向けの住宅を整備し、充実させる             |
| 4 医療サービスを整備し、充実させる               | 9 高齢者に配慮した街づくり（交通機関、道路等の整備）を目指す  |
| 5 介護や福祉サービスを整備し、充実させる            | 10 事故や犯罪防止（財産目当ての犯罪、交通事故等）の対策を行う |
|                                  | 11 高齢者の人権について、一般市民に理解してもらう       |

ウ 社会保障制度の負担のあり方（Q41）

「社会保障制度の水準や負担のあり方」についてみると、日本では「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき」の割合が 36.7%で最も高い割合となっている。一方、欧米3か国では「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき」（アメリカ 44.2%、ドイツ 46.8%、スウェーデン 51.7%）の割合が最も高くなっている。

前回と比較すると、ドイツでは「たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき」が増加している。（表 49）

（表 49） 社会保障制度の負担のあり方

(%)

	日 本								ア メ リ カ								
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
1  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき						18.9	29.2	28.4							43.2	40.2	44.2
2  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき						37.4	38.8	36.7							31.8	29.1	32.7
3  できるだけ、今後、税や保険料の負担を増やさないようにするためには社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない						21.3	17.5	19.5							8.8	15.4	9.5
4  わからない						21.7	14.5	15.5							15.8	15.3	13.7
無回答						0.7	-	-							0.4	-	-

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準は向上させるべき				35.4	36.6	46.8		48.9	51.7
2  たとえ、今後、税や保険料の負担を増やすことになっても、社会保障制度の現在の水準はできるだけ維持すべき				30.0	33.8	33.9		37.9	36.4
3  できるだけ、今後、税や保険料の負担を増やさないようにするためには社会保障制度の現在の水準が下がってもやむを得ない				17.8	19.1	10.6		5.1	6.4
4  わからない				16.1	10.6	8.6		8.2	5.5
無回答				0.7	-	-		-	-

エ 老後の生活費に対する考え方 (Q42)

「老後の生活費について、どのようにまかなわれるべきだと思うか」についてみると、日本とアメリカでは「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(日本 45.7%、アメリカ 43.6%)と「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」(日本 44.9%、アメリカ 42.3%)が同程度の割合である。

一方、ドイツとスウェーデンでは「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」(ドイツ 50.3%、スウェーデン 75.3%)の割合が、「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」(ドイツ 35.0%、スウェーデン 19.0%)に比べて高く、特にスウェーデンでは4人に3人を占める。

前回と比較すると、スウェーデンでは「老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである」の割合が10ポイント以上増加し、一方、「老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである」の割合が9ポイント程減少している。(表50)

(表50) 老後の生活費に対する考え方

(%)

	日 本								ア メ リ カ							
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
1 老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである	55.0	52.4	44.0	46.6	42.6	47.6	47.8	45.7	60.7	65.2	59.1	62.1	50.8	48.4	42.4	43.6
2 老後の生活費は、家族が面倒をみるべきである	18.8	15.0	16.0	12.8	7.9	6.9	7.2	6.0	0.6	0.7	0.6	0.8	4.9	4.2	7.1	5.9
3 老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである	21.8	30.2	37.5	37.7	46.3	43.6	42.9	44.9	29.1	25.3	26.5	25.7	37.8	44.1	43.8	42.3
4 その他	2.5	2.2	1.3	2.3	2.6	1.4	1.5	3.4	6.0	6.0	9.1	5.8	1.3	2.9	5.6	7.8
無回答	1.9	0.3	1.1	0.6	0.6	0.5	0.7	-	3.6	2.8	4.7	5.6	5.2	0.4	1.1	0.5

	ド イ ツ						スウェーデン		
	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第5回	第7回	第8回
1 老後の生活費は、働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべきである	45.2	32.2	39.6	34.9	35.7	35.0	37.6	27.8	19.0
2 老後の生活費は、家族が面倒をみるべきである	6.0	3.8	1.7	5.7	6.2	7.3	1.8	1.7	0.8
3 老後の生活費は、社会保障など公的な援助によってまかなわれるべきである	45.6	59.3	57.2	55.8	52.7	50.3	57.3	61.8	75.3
4 その他	3.0	4.3	1.5	3.2	1.2	4.5	3.3	8.7	4.9
無回答	0.2	0.4	-	0.4	4.3	2.9	-	-	-